



関町小通信

令和2年度12月号
練馬区立関町小学校
学校だより

師走 ～ 今年もあと一か月となりました ～

校長 加園 正子

2020年師走。朝夕めっきり寒くなりましたが、子供たちは元気に校庭を走り回っています。10月のリズム縄跳びの体育公開授業では、短縄跳びを曲に合わせて軽やかに跳び最後まで頑張る姿を、11月の道徳授業地区公開講座では友達と対話しながら考えを深める姿を、多くの保護者の方に参観していただきました。

また先日開催した展覧会には、延べ975名の保護者・地域の皆さんが関小美術館（体育館）に来館し、子供たちの個性溢れる力強い作品をご鑑賞いただきました。正門の展覧会立て看板が、根岸教諭（図工）と西山主事共同制作で木の温もりあるものにリニューアルされたり、会場内の学年表示を6年生が制作したりと、新たな試みもありました。皆さんから頂いたアンケートには、コロナ禍の状況の中でも、子供たちが明るい色合いで、自由に表現している作品を観て、安心した等の声を頂きました。また、展覧会実施に向けた教職員の頑張りに励ましや労いの言葉を多数頂き感謝しております。今週末には、今年度の教育活動についての学校評価アンケートをお配りいたしますので、児童数で回答いただき担任へご提出ください。

次に、展覧会アンケートの一部を紹介いたします。 ※課題については、次回の参考にさせていただきます。

- コロナ禍の中、感染対策など様々な配慮をしておの展覧会開催ありがとうございました。娘達は、児童鑑賞日の日に帰宅してから、互いの作品について感想を話し合い良い刺激を受けているようです。作品制作や鑑賞で、子供たちの心が豊かになったように感じました。
- 子供たちが、一生懸命に自分の作品と向き合い創り上げた作品を観ました。特に6年生の版画の詩は、パワーと個性があり、胸が熱くなりました。いろいろなことがコロナ禍で中止になる中、一つ一つ前向きに作品作りに取り組んだことを思うと子供の成長を感じると共に、感動で涙が止まりませんでした。素晴らしい感性をありがとう。
- 初めての展覧会、子供たちの個性・自由な発想力を作品から感じられました。わが子以外の作品も、興味深く鑑賞することができました。夕飯の食卓では、家族で作品についての話で盛り上がり楽しい時間を過ごすことができました。
- 展覧会場の雰囲気がとても良かったです。素敵な曲が流れ、皆静かに観ていました。どの学年も力作で、子供たちが一生懸命・丁寧に楽しみながら作品を創ったのがよく分かりました。全ての子供たちの傑作作品を観て、感動。関小って本当にいいなと思いました。もうすぐで卒業ですが、関小で本当に良かった。この場をお借りして6年間ありがとうございました。
- 共同作品が無くて、会場がすっきり。 △共同作品が無くて残念。△コロナ禍が落ち着いたら子供と一緒に鑑賞したい。
△展示をクラス毎にすると、限られた時間でも作品を探しやすい。 △入口と出口を別にすると出入りがスムーズになる。

さて、今月「練馬区立学校のこれからの生活について」のガイドラインの改訂版が練馬区教育委員会から提示される予定です。来年1月からは、改訂されたガイドラインに基づいて教育活動を進めて行くこととなります。詳しいことが分かりましたら、皆様にお知らせいたします。

今月の保護者会については、各学級で予定通りに実施します。その際に、携帯電話等の持ち込みについての説明をいたします。また、来年1月23日（土）の土曜授業公開については、今後の新型コロナウイルス感染症再拡大の状況により、実施の有無を決め1月の学校だよりでお知らせいたします。校内書初め展については、例年通り各教室の廊下に書初め作品を掲示します。今年度は、コロナ禍により連合書初め展・連合図工展共に、分散開催となり、自校の代表児童の作品を校内で掲示することになりました。書初めの代表児童の作品には、金色の印をつける予定です。図工の代表児童の作品については、書初め作品の掲示期間中に、職員室前の廊下に掲示します。いずれも、代表児童については、個別にお知らせいたします。

今年も、残すところ一か月になりました。子供たちが後期の学習・生活のめあてや目標が達成できるように、実りある教育活動を進めて参ります。今年もお世話になりました。皆様、良い年をお迎えください。